

AKB Future Project 2nd Stage ~北海道と世界の明日を創る

北海道の現状

豊富な観光資源・食・自然
しかし...
若者の地元離れ・少子高齢化

理想 - 現実 = 課題

理想

あらゆる年代が
住みやすい環境

〈地域での学び〉

- ・SDGsの視点 × 地域の課題を探究
- ・地域でキャリア課題を探究
- ・地域と協働したプロジェクト実践

〈期待できる成果〉

- ・グローバルな視点と地域理解
- ・地域への当事者意識
- ・課題解決に向けた企画力・実践力

運営指導委員会

コンソーシアム

北海道教育委員会・胆振総合振興局
室蘭工業大学・登別市・登別市教育委員会
登別社会福祉協議会・登別商工会議所
登別国際観光コンベンション協会

AKB Future Project 委員会

ローカル探究部門

- ・課題探究の企画・運営
- ・地域との協働
- ・5つのユニット（防災・産業・医療・福祉・循環型社会）

グローバル探究部門

- ・海外オンラインプログラム
- ・イングリッシュデイズ
- ・SDGsの視点

地域共同学習 実施支援員

前期課程：地域と世界を知る

4回生：地域課題を探究する

5回生～：地域でキャリア課題を探究する

卒業後のアクションへ

令和2年度の目標

- ・6回生の探究カリキュラムを開発
- ・地域でのプロジェクト型探究の実現
- ・対象生徒の過半数がアクションプランの実践に進む

- ・地域にある既存の教育資源の情報を集約・活用し、コンソーシアムの活動を持続可能なものとする
- ・地域と高校生が協働するプロジェクトの実現

- ・課題探究と連動した海外FWの実施
- ・海外FW成果の全校・地域へ還元
- ・コロナ禍におけるグローバル活動の開発

令和2年度の実行状況

- ・4～5回生の課題探究に加え、6回生で「学びのプロジェクト」を実施
- ・オンラインを含むフィールドワークの実施
- ・外部コンテスト参加促進による動機付け

- ・感染予防に留意しながら、地域人材を活用
- ・登別市市制50周年記念事業の協力により、生徒主導のプロジェクトが複数実現
- ・コンソーシアム内に機動性あるワーキンググループを結成し活動を開始

- ・コロナ禍で中止となった海外FWに代り、海外オンラインプログラムを実施
- ・オンラインMTGを利用を促進し、授業や個別の課題探究でも積極的に活用

成果と課題

デザイン、おにぎり、環境活動等
多様なコンテストへの参加・入賞！

【成果】：6回生「学びのプロジェクト」実施／外部コンテストへの積極的参加・入賞

【課題】：withコロナでの地域協働／感染リスクを避けながら生徒の意欲を高める探究の設計

地域でのPJT型探究【9件38名】

市制50周年Be Smile PJTで実現したPJT【6件17名】

【成果】：生徒が自発的に学校外の協力を得るケースが散見／コンソーシアム主催ワークショップ実施

【課題】：コンソーシアムの活動を定期的に行い、指定終了後も持続可能とする

【成果】：次年度以降にも活用できる効果的な海外オンラインプログラムの設計

【課題】：海外プログラムは体験や成果を共有できているが、それ以上に地域と相乗効果を生む実践

課題探究

地域協働

グローバル